

## IT News Letter の発刊に寄せて

文教大学大学院情報学研究科 教授 栗林 訓†

Satoshi Kuribayashi†

キーワード：文教大学大学院，情報学研究科，情報技術情報の発信

情報学研究科は2005年4月に新設されたIT関連の専門的職業人を養成する大学院です。最先端のIT分野をいろいろな角度から分析し、実務に応用できる人材を育てるのが目的です。

より具体的には、情報学研究科は、システムに関する知識を有し、システムの能力を十分利活用できる能力、および利活用に関するニーズを情報システムの構築に反映できる能力を併せ持つ人材の養成をめざします。

このような能力を有する人材が活躍する場としては、システム開発の分野、コンテンツ・ビジネスへの就職、そして独創的なベンチャー企業の実現等が想定されます。研究科のスタッフ全員がその実現のために全力をあげています。

ところで、IT(Information Technology) = 情報通信技術は、なんとなく固いイメージを与えがちですが、私たちの身の回りにはその恩恵を蒙っているものがたくさんあります。たとえば、アニメや映画制作、音楽情報の配信、自動翻訳、知能ロボット、デジタル放送、等々、ITの発達によってますます私たちの生活は便利になり豊かなものになりました。また、インターネットを利用する世論調査や金融情報の活用など、ITの応用は枚挙にいとまがありません。

ITには革命的な意義があります。20世紀後半から、アメリカではITが経済全体に浸透し始め、いわゆる「ニュー・エコノミー」を実現しました。インフレを克服して経済成長を実現するという従来では考えられなかった姿です。

IT News Letterは、このような情報技術革新に関する最新のニュース、話題等について平易に解説します。執筆陣は情報学研究科に所属する各分野の専門家です。第一は数理的・工学的な分野で、情報システム技術の基盤となるものです。第二は情報の処理と表現およびコンテンツ制作の分野です。第三は情報システム技術をビジネスに利活用す

る際に必要となる経営情報の知識を扱う分野です（各分野の詳細な説明および情報学研究科については、公式ホームページ <http://www.bunkyo.ac.jp/faculty/gs-info/> をご覧ください）。

情報学研究科は研究成果を積極的に外部に公開しています。ホームページは頻りにアップデートされ、最新の情報を提供しています。

IT News Letterも情報公開の一環です。ITに興味のある方々と情報のフィードバックを双方向で実現していくための手段です。読者の皆さまからの積極的なコメント等がいただければ幸いです。



栗林 訓 1968年3月、一橋大学経済学部卒業。同年4月、野村総合研究所入社。1971年、The University of Michigan 工学部大学院修了(MS)。1978年、The Australian National University 大学院修了(Ph.D.)。1986年3月、野村総合研究所退社。同年4月、文教大学情報学部教授に着任。1992年より1996年に文教大学湘南総合研究所長。2005年4月より文教大学情報学研究科教授を兼ねる。文教大学大学院情報学研究科長。情報学研究科では「金融経済学特論」、「金融経済学演習」を担当。

2005年10月9日受付

〒 253-8550 神奈川県茅ヶ崎市行谷 1100

kuribaya@shonan.bunkyo.ac.jp

† Graduate School of Information and Communication,  
Bunkyo University

1100 Namegaya, Chigasaki, Kanagawa 253-8550, Japan